



校長室だより

令和7年2月14日

点と点をつなげる

長年使ってきた携帯電話を機種変更することになり、いろいろなメーカーのことを調べていると、「スティーブ・ジョブズ」という人のことを知る機会がありました。携帯電話やパソコンを開発する「アップル社」の創始者、という気づく人もいます。世界的に有名な人ですが、これまでの人生で様々な経験をしてきたようです。例えば、彼は自身が作ったアップル社から解雇される、という特異な過去を持っています。自分で作った会社なのに、その会社から解雇される。それは、驚くようなできごとだったでしょう。しかし、ジョブズさんはその時のできごとを「人生で最良のできごとだった」と語っています。ジョブズさんは、アップル社を解雇されたあと、様々な会社を作っています。中でも有名なものが、トイ・ストーリーなど数々のアニメ名作を生み出したピクサー社。他にも会社を創業して成功を収めていったジョブズさんは、結果的にアップル社に再び咲くことになります。

彼の有名な言葉の一つに「点と点をつなげる」があります。私たちは、将来をあらかじめ見すえて点と点をつなぐことはできません。できるのは、経験した後からつなぎ合わせるだけです。過去を振り返った瞬間に「今考えればあの経験も今に生きていたんだな」と思える時こそが「点と点がつながった瞬間」なのです。そして、逆境をネガティブ（後ろ向き）にとらえるのではなく、「もしかすると、どこかに役立つのではないか？その逆境から、何かが生まれているのではないか？」とポジティブ（前向き）にとらえることが、点と点をつなぎやすくするのです。そう考えることで、ジョブズさんは、実際に世界的な成功を手に入れることができました。

自分の行いや経験は全て自分に蓄積され、あらゆることが自分にとって無駄にはなりません。この考え方が点と点をつなげるために必要です。そして、「今」、目の前のことに本気になることで、小さく思える「点」が未来を広げる可能性をぐっと高めることになります。

何と何がつながっていくかは、前もってわからないからこそ、日々、様々な点を生み出すように、一生懸命に取り組むことが大切なのだと思います。

3年生の挑戦

3年生の入試が今、まさに本番を迎えています。来週、公立高校の特色選抜の入試日を控えています。すでに進路が決定した人もいます。3学期に入り、入試に備え、校長室で面接練習を行っています。受験のためだけでなく、相手の問いに対して自分の考えていることが的確に伝えられるか、対応のマナーができていないかなど、さまざまな観点からこの面接練習を大切にしています。

生徒は、姿勢・歩き方・礼などの立ち振る舞い、質問に答える言葉づかい、答える内容にも気を付けながら、本番さながらの緊張感をもって臨んでくれています。入試などで面接する側は、短い時間のやりとりの中でその人の人柄や本気・やる気・熱意を瞬時で見抜きます。今回の面接練習では、「限られた数分間」の中で、口先だけの言葉でとりつくろうのではなく、「普段通りの自分」を素直に表現しようと努力する姿が見受けられ、受験への意気込みを感じました。

「その時だけ特別」とか「その時のためだけに用意された」ものではなく、普段からごくごく当たり前に日常生活の中で考えたり行動していたりすればこそ、自然に「素直な心」を表すことができるのだと思います。このことは社会に出てからも、きっとみなさんの強い味方になってくれるはずです。



保護者のみなさまへ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

1月24日開催の1・2年生 学年懇談会へのご出席、ならびに学校評価アンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。今年度も残すところ2か月足らずとなり、いよいよまとめの時期となります。教職員も今年度の教育活動を総括し、次年度に向けて検討を重ねているところです。

今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

